



平成 29 年 4 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光
(コード番号 8742 東証第一部)
問合せ先 取締役業務部長 渡 辺 宏
(TEL 03-3664-3511)

当社子会社（株式会社フジトミ）における投資有価証券評価損の 戻入れに関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社フジトミは、添付資料のとおり、同社が保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落しているものについて、平成 29 年 3 月期第 2 四半期から減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上しておりましたが、当該株式の株価の回復により、平成 29 年 3 月期末におきまして、投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりました。

当社におきましても、平成 29 年 3 月期第 2 四半期（連結）に投資有価証券評価損として同額を特別損失に計上しておりましたが、本件により平成 29 年 3 月期末（連結）において投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期末における投資有価証券評価損の戻入れ

	連 結	株式会社フジトミ (個 別)
平成 29 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額（= A - B）	△63 百万円 (△：戻入益)	△63 百万円 (△：戻入益)
(A) 平成 29 年 3 月期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	一百万円	一百万円
(B) 直前四半期（平成 29 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	63 百万円	63 百万円

- (注) 1. 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え法を採用しております。
2. 当社及び当該子会社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 今後の見通し

当社では業績予想の開示を行っておりませんが、これまでと同様に重要な会社情報の適時開示を速やかに行うことに努めてまいります。

以 上

【添付資料】株式会社フジトミの開示資料



平成 29 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ
代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 英 光
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
問 合 せ 先 取締役業務本部長 新 堀 博
電 話 0 3 - 4 5 8 9 - 5 5 0 0

平成 29 年 3 月期 投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落しているものについて、平成 29 年 3 月期第 2 四半期から減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上しておりましたが、当該株式の株価の回復により、平成 29 年 3 月期末において投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期末における投資有価証券評価損の戻入れ

	個別
平成 29 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額（= A - B）	△63 百万円 (△：戻入益)
(A) 平成 29 年 3 月期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	一百万円
(B) 直前四半期（平成 29 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	63 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え法を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 今後の見通し等

上記評価損が平成 29 年 3 月期決算業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

なお、当社は的確な予想を行うことが難しいため、平成 29 年 3 月期通期の業績予想は開示せず、四半期毎に迅速に業績速報を開示させていただくこととしております。

以上